

みらい快報

<第38号>

令和8年8月3日

好評開催!! 『先端AI/IoT・ロボティクス研究会』

第5回実践講座開講 <導入事例から学ぶ>

テーマ：AI活用で企業力アップ!!

(一社) 信州産学みらい共創会では、皆様からの好評をいただき「先端AI/IoT・ロボティクス研究会」第5回実践講座を開講することとなりました。今回は、AIをはじめとする先端テクノロジーの実践事例紹介を中心に、企業の経営層やエンジニアの皆様にご学んでいただく機会を設けました。

開講の目的は、

- ・企業のAI/IoT/ロボット化を担当するエンジニアに実践的なリスティング教育（人材育成）
- ・人手不足の解消、業務の効率化を生産性向上とサイバーセキュリティ対策強化
- ・当共創会会員企業間及び大学、県研究機関の課題解決に向けた連携（産学官連携推進）です。

次のような課題をお持ちの事業所は、是非、ご参加ください。

- ・今、注目されている生成AIの活用について具体的に知りたい。
- ・AI/IoT化をどこから進めたら良いか迷っている。
- ・社内の様々な業務をAI/IoTを活用して、業務の効率化を図りたい。
- ・サイバーセキュリティをどのように進めたら良いか迷っている。など・・・

貴社が、AI活用に向け第一歩を踏み出すきっかけにして頂ければ、幸いです。

1. 講座名：『先端AI/IoT・ロボティクス研究会』第5回実践講座
2. 講師企業：① 株式会社ジェスクホリウチ
② 株式会社日本オープンシステムズ
3. 参加対象：企業で製造現場や様々な業務のAI/IoT化（デジタル化）を推進する部門の方
企業でサイバーセキュリティを担当する部門の方
4. 講義内容：（1社当りの持ち時間は、講義・デモ・質疑応答含め90分）
 - ・実践的な教育をするために、導入事例を中心に紹介する座学
 - ・システムの紹介、導入効果（業務効率化、生産性向上等）、導入コスト
 - ・サイバーセキュリティ対策、動画説明等
5. 受講料：無料
6. 開催場所：長野県県民文化会館・1Fギャラリー（長野市若里1-3-3 TEL 026-226-0008）
7. 開催日時：令和8年9月9日（水）13:00～16:15（受付開始：12:30～）
8. 定員：50名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
9. 申込方法：下記URL、またはQRコードより専用フォームからお申込みください。

<https://forms.gle/5bUxRnwVtSQraWPw7>

QRコードは
こちら⇒



10. 締め切り：令和8年8月31日（月）

<主催・お問合せ> 一般社団法人 信州産学みらい共創会（担当：浅川、一條）

TEL：026-269-5384 / FAX：026-269-5731 / Email：info@kyosokai.or.jp

<共催> 長野県工業技術総合センター

講座内容

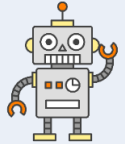
<第1部> 株式会社ジェスクホリウチ

- ・ **講師**：株式会社ジェスクホリウチ システム本部 情報システム部 課長補佐 平沢 隼 (ヒロサキ シン)
システム本部 FAシステム部 主任 山崎 悠蒼 (ヤマザキ ユウ)
長野支店 営業部 営業課 佐藤 俊一 (サトウ シンイチ)

・ 講義内容 (導入事例紹介)

生成AIと自動化が拓く現場DX最前線

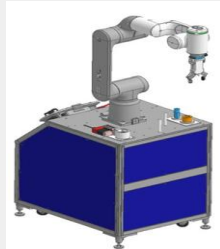
人手不足や業務効率化が求められる中、生成AIと自動化を活用した当社の取り組みをご紹介します。自動化提案の成功・失敗事例やロボットデモを交えながら、生成AIサービスの立ち上げから拡販までの実践事例を共有し、現場で成果を生み出すDX推進のポイントを解説します。



自動化・省人化の技術事例紹介

現場改善につながる自動化提案事例や、協働ロボットによるティーチングレス実演をご紹介します。

デモ機



- ・ 自動化提案事例
- ・ 成功事例
- ・ 失敗事例
- ・ デモ実演 (協働ロボット)

業務を変える情報活用 生成AI

AI活用による業務効率化のヒントや、企業専用AI・図面検索による業務効率化、安全管理のデジタルをご紹介します。

- ・ AI事業立上げ
- ・ 苦労した点
- ・ お客様の反応成功
- ・ 失敗事例
- ・ 今後の展望

企業専用AI



安全管理のデジタル化



<第2部> 株式会社日本オープンシステムズ

・ 講師：(株) 日本オープンシステムズ

長野営業部長 清水 裕二、第二クラウドサービス部チーフエンジニア 岩瀬 健、第一クラウドサービス部チーフエンジニア 森野 大樹

・ 講義内容 (導入事例紹介)

生成AI時代に問われる企業力

第一章：会社紹介、DX・ICT導入の進め方

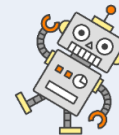
第二章：「なんとなくAI」を「成果の出るAI」へ

第三章：意外と知らない「何を守っているのか」

～事業会社の等身大な始め方～

～会社を守るセキュリティははじめの一歩～

製品・サービスの説明ではなく、皆さんの「では、どう進めれば良いのか」に答えます。



【AI活用】

様々なAIサービスが乱立する現代



AI便利だよなあ・・・
でも、いざ使ってみたものの

皆さん
思ったことございませんか？

【ITセキュリティ】

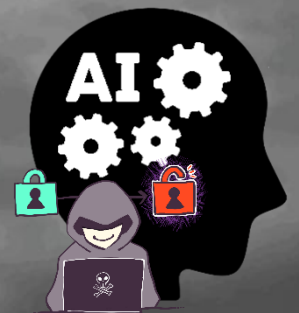
何を守れば良いのか
どう守れば良いのか

専門知識と実績からくる
経験で培ったノウハウで
もっと知りたかった事を。

- ・ 着手していても実感が
- ・ 良く分からずに利用
- ・ 効果的なのか分からない
- ・ 被害に気付かない

ランサムウェア、脆弱性、標的型、DDoS
SCS評価制度は・・・

皆さん
思ったことございませんか？



結局、どう進めれば良いのか